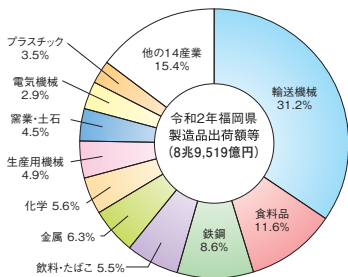


福岡県の商工業

福岡県の工業は、鉄鋼、石炭・科学等の基礎素材型産業や食料品等の生活関連型産業を中心に発展してきましたが、近年では、自動車関連産業等の加工組立型産業のウェイトが高まっています。また、食料品製造業は、豊富で良質な農林水産物が調達できることや、大消費地に近く物流環境に恵まれていることなどから集積が進んでいます。



自動車産業

福岡県には、日産自動車九州、トヨタ自動車九州、日産車体九州の3つの自動車工場があり、隣の大分県にもダイハツ九州の自動車工場があります。北部九州にあるこれら4つの自動車工場の生産台数は年間 154 万台です。全世界において、150 万台以上乗用車を作っている国は 8 か国しかありません。1 台の自動車を生産するには、およそ 2～3 万個もの部品が必要とされており、これらの部品は、多くの関連工場で製造されています。福岡県内には、約 600 社の関連企業があります。



水素エネルギー産業

福岡県では、環境にやさしい水素・燃料電池の産業振興に取り組んでいます。九州大学では、水素・燃料電池に関する世界最先端の研究開発が行われ、この分野で、福岡県は世界から注目されています。県では、水素を使って走り、走行時に水しか排出しない燃料電池自動車 (FCV) 3 台を公用車として活用しています。また、FCV の普及に向けて、FCV に水素を供給する水素ステーションの整備も進めています。県庁敷地内に設置している水素ステーションを含めて、現在、県内 11 か所に水素ステーションが設置されています。



県FCV公用車



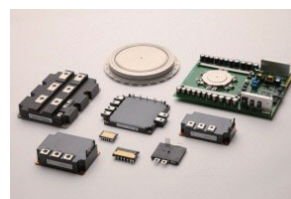
九州大学水素材料先端科学研究センター



水素ステーション

半導体産業

半導体は、パソコンやスマートフォン、自動車など、様々な電子機械を動かすための大切な部品として私たちの暮らしを支えています。その一方、社会のデジタル化が進むなかで、世界中で半導体不足が問題となっています。県内には、半導体の製造に関わっている企業や、半導体に関する研究を行っている大学、支援機関がたくさんあり、福岡県は、このような企業、大学などといっしょに、環境にやさしい省エネルギーな半導体「グリーンデバイス」の開発・生産拠点の形成を目指しています。



近年注目が集まっている環境にやさしい省エネルギーな半導体「グリーンデバイス」



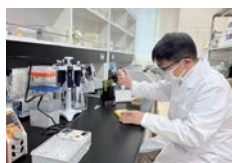
自動車は走る半導体と呼ばれ、1台に約数十個から100個程の半導体が使われています

バイオ産業

福岡県では、生物の持つ能力や性質を活かす「バイオ技術」を活用して、産業を振興しています。久留米市など筑後地域は、昔から醤油や味噌など発酵食品の製造が盛んであり、また日本酒を造る酒蔵も多くあります。この地域を中心に新しい薬や健康食品、福岡県独自のお酒などの製品が開発されたり、バイオに関する企業が新設されたりするよう、研究開発の支援などを行っています。



福岡オリジナル吟醸酒



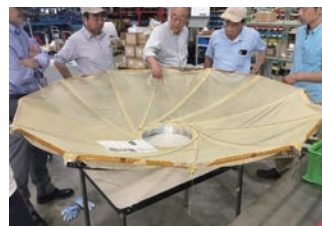
福岡バイオコミュニティゲノム編集産業化実証ラオの研究の様子

宇宙ビジネス

福岡県には、宇宙開発に挑戦する企業や、宇宙に関する研究を行っている九州大学、九州工業大学などがあります。これらの企業、大学と共に、人工衛星やロケット、人工衛星からのデータを活用した新サービスの開発に取り組んでおり、宇宙ビジネス振興の取り組みに熱心な県として、国から「宇宙ビジネス創出推進自治体」に選出されています。



福岡県の宇宙ベンチャー(株)QPS研究所が開発した超小型レーダー衛星 (提供: (株)QPS研究所)



衛星の開発には県内のたくさんのものづくり企業が関わっています (提供: (株)QPS研究所)

